

令和3年度 社会福祉法人希望の家 事業計画

I 序

昨年3月からの新型コロナウイルス感染症の世界的流行が続く中、我が国では今年1月7日に発出された緊急事態宣言が1都3県の区域で3月21日まで再延長されました。国内の累計感染者は456,957人（3月21日現在）となり、まだ収束の見通しは立っていません。加えて変異株の感染も、空港検疫を除き、26都道府県で399件（同16日現在）確認されています。ただ日本でも承認されたワクチンの先行接種が始まり、明るい材料も出てきました。このような状況の中で、当法人も国・県の事務連絡・対策補助金等を受けながら、外から入れない、持ち込まないことを重点に感染防止対策に取り組んできました。

一方障害福祉分野では、令和3年度の障害福祉サービス等報酬改定の改定率が前年比の0.56%増で決まり、主な改定内容は、①障害者の重度化・高齢化を踏まえた地域移行・地域生活の支援、②質の高い相談支援、③効果的な就労支援、④医療的ケア児への支援、そして⑤感染症や災害への対応力の強化などが示されています。改定内容や加算の見直し状況等を詳しく確認し、適切な対応に努めていきます。

内部に目を向けると、①高齢化・重度化への対応、②今後の職員の確保、③感染症や災害への対応、そして④10年後には築50年を迎える希望の家本館建物への対応等の課題があげられます。

今後については、感染症対策を取り入れた新しい生活様式の中で、ワクチン接種も視野に入れながら、創意工夫をし、ご利用の皆様のストレスの軽減を図り、より安心・安全な生活環境を整備して参ります。併せて、国・県の動向を見据え、関係諸機関と連携し、保護者会の皆様や地域の方々のご支援・ご協力を受けながら、地域に根差した法人として、内外の課題に丁寧に取り組んで参ります。

II 基本方針

- 1 利用者のいのちの尊厳を守り、利用者が健康で安心、安全な生活が送れるよう支援します。
- 2 施設・事業所の提供する福祉サービスの質の向上を図ります。
- 3 事業運営の透明性を確保し、経営基盤の安定・強化を図ります。
- 4 地域住民、関係諸機関、他法人等との連携・協働を通して地域福祉に貢献します。

III 重点目標

中期計画の2年目（中間点）にあたり、計画表に沿って以下の項目に取り組めます。

- 1 福祉サービスの質の向上
 - ・福祉サービス第三者評価を受審します。これによって、福祉サービスの質に関わる取組み、成果及び具体的な改善点等も明らかにし、質の向上に結びつけます。
- 2 感染症や災害への対応力の強化
 - ・感染症の発生及びまん延の防止等に関する取組みの徹底（委員会開催、指針の整備、訓練の実施）
 - ・福祉サービスの業務継続に向けた取組みの強化（業務継続計画の策定・研修及び訓練の実施）
 - ・地域と連携した災害対応の強化（訓練にあたっての地域住民との連携）

上記2点は3年の経過措置後に義務付けとなるため、今年はその準備の年とし、日頃から感染症対策の強化を行います。
- 3 職員の確保・定着・育成に向けて
 - ・キャリアパスを職員に周知し、不十分な点は改善しながら、キャリア形成の見通しが立ちやすく、働きやすい職場を目指します。

・10年程度の職員の動きを見通しながら、計画的な採用を進めていきます。

4 その他

・旧GHみどりの跡地について、建物の改修・整備も含め、有効利用について継続検討します。

IV 事業運営計画

1 各事業の取り組み

当法人の全事業で82名の利用があり、利用者の年齢層は21歳から92歳までと幅広く、4月1日現在で全体の平均年齢は59.2歳です。

(1) 障害者支援施設

①希望の家

平均年齢（生活介護：59.7歳）

	定員（現員）
㊦ 施設入所支援	38名（現員 38名）
㊧ 生活介護	40名（現員 37名：施設入所37名）
㊨ 短期入所	空床型
㊩ 日中一時支援	4名

②若竹の家

平均年齢（生活介護：57.1歳）

	定員（現員）
㊦ 施設入所支援	26名（現員 26名）
㊧ 生活介護	30名（現員 30名：施設入所24名、GH5名、自宅1名）
㊨ 短期入所	2名及び空床型

環境の整備に努めながら、生活介護（日中）では、昼間、入浴、排泄、食事の介助等を行うと共に、創作活動又は生産活動の機会を提供します。施設入所では、主として夜間において、入浴、排泄、食事等の介護、生活等に関する相談及び助言、その他日常生活上の支援を行います。

(2) つつじ作業所

平均年齢（62.2歳）

	定員（現員）
就労継続B型・通所	20名（現員 15名：GH10名、施設入所3名、自宅外2名）

既存の受託加工作業や洗濯作業及び施設外就労の充実を図り、働く喜びや就労の意欲が得られるよう、各々の利用者に適した作業を提供します。

令和3年度は報酬体系が改定され、従来型の平均工賃に応じた体系と、一定の基本報酬に加算される体系の2つに類型化されますが、本年度については前者が有利であると考え、平均工賃月額25,000円の水準を目指します。

(3) グループホーム希望の家

平均年齢（65.0歳）

	定員（現員）
㊦GH（せきがね・たきがわ）	12名（現員 11名）
㊧GH（みどり）	5名（現員 4名）
㊨短期入所	1名（GHみどり）

利用者が地域で安心して暮らせることを目指し、住環境・支援体制を整え、地域の行事や清掃活動等にも参加しながら、地域の一員としての生活の定着を図ります。3つのホームで地域生活を展開します。

2 各利用率（稼働率）

サービス区分	令和3年度	令和2年度	令和元年度
	目 標	見込み	実 績
希望の家・施設入所	98%	97.5%	96.7%
生活介護	91%	90.6%	90.0%
短期入所（延利用者数）	2人	0人	0人
日中一時（延利用者数）	5人	5人	5人
若竹の家・施設入所	96%	95.1%	89.5%
生活介護	97%	96.9%	94.3%
短期入所（延利用者数）	50人	154人	56人
つつじ作業所	60%	57.5%	61.3%
グループホーム	90%	87.1%	87.8%
短期入所（延利用者数）	2人	0人	0人

V 職員体制（予定含む）

1 希望の家

職 種	正職	パート	嘱託外	合計
所長（兼務）	1			1
次長（兼務）（サビ管）	1			1
主幹（兼務）	1			1
事務職員（兼務）	3			3
栄養士（兼務）	1			1
調理員（兼務）	5	1		6
看護師（兼務）	3	1		4
生活支援員	18		1	19
嘱託医（兼務）			2	2
合 計	33	2	3	38

2 若竹の家

職 種	正職	パート	嘱託外	合計
所長（兼務）	1			1
次長（兼務）	1			1
主幹（兼務）（サビ管）	1			1
事務職員（兼務）	3			3
栄養士（兼務）	1			1
調理員（兼務）	5	1		6
看護師（兼務）	3	1		4
生活支援員（内、1名は兼務）	10			10
嘱託医（兼務）			2	2
合 計	25	2	2	29

3 つつじ作業所

職 種	正職	パート	嘱託外	合計
所長（兼務）（サビ管）	1			1
次長（兼務）	1			1
主幹（兼務）	1			1
事務職員（兼務）	1			1
生活支援員	2			2
職業指導員	1			1
目標工賃達成指導員	1			1
合 計	8	0	0	8

4. GH希望の家

職 種	正職	パート	嘱託外	合計
管理者（兼務）	1			1
次長（兼務）（サビ管）	1			1
主幹（兼務）（サビ管）	1			1
看護師（兼務）	2			2
事務職員（兼務）	1			1
生活支援員（兼務）	1			1
生活支援員兼世話人		6		6
夜間世話人		4		4
合 計	7	10	0	17
職員実人数（嘱託医除く）				62名

VI 主な施設整備・修繕等の計画

（単位：千円）

名 称	執行予定額
若竹の家風呂屋上防水等改修工事	3,784
GHたきがわトイレ・床改修工事	6,050
福祉サービス第三者評価事業手数料	220
冷蔵庫の購入	330
貸切バス送迎業務	5,086

VII 年間行事等実施計画（別紙参）

令和3年度 年間行事等実施計画

項目 月	行		事		理事会・職員研修等		防 災 訓 練 等		検 診・安全衛生		そ の 他	
	日	内 容	日	内 容	日	内 容	日	内 容	日	内 容	日	内 容
4月	5	新年度編成 職員会（各事業所）				県知福協代議員会		防災設備点検				
5月		前期支援計画説明会				県施設長会		総合防災訓練 GH避難訓練 （火災・土砂）		胃癌検診（胃カメラ）		
6月		家族交流会				定時評議員会 理事会 食中毒防止研修会		救命講習（～7月）		歯科検診 コロナワクチン接種		鳥取短大実習
7月		宿泊レク（若竹の家） 各事業所前期慰労会 （7～8月）				全国施設長会議 強度行動障害支援者養成研修		非常連絡網訓練				きぼう紙発行 後援会総会
8月					18	県民総合福祉大会		防災自主検査				鳥取短大実習
9月		親睦旅行（9～11月） 職員会（各事業所）		県内親善球技大会 （9～11月）		県施設長会				総合健診 前立腺がん検診		みどり町学習会
10月		後期支援計画説明会 きぼうまつり		鳥取県手をつなぐスポーツまつり		市社会福祉大会 サビ管更新研修		避難訓練（施設・GH）		肺炎球菌ワクチン予防 接種		明倫生活文化展
11月						感染防止研修会 サービス管理責任者研修		防災設備点検		インフル予防接種 内科検診		解放文化祭
12月		各事業所忘年会 クリスマス会		餅つき		県施設長会		GH土砂災害避難訓練 地震避難訓練				きぼう紙発行 中部あいサポート フェスタ
1月					27	とっとりフォーラム 全国職員研究大会				胃がん・婦人科検診 夜勤者健診		とんど（みどり町）
2月		職員会（各事業所） 会食イベント						防災自主検査 夜間想定避難説明				
3月		各事業所年度末慰労会		棚卸（つつじ作業所） 法人役職員懇親会		理事会・評議員会 第三者委員との連絡会 県施設長会		防災研修（消防学校）				きぼう紙発行